



学校用



# 認知症サポーター養成講座

## を授業に取り入れてみませんか！



### ★ 「認知症サポーター」 って何をするの？

「認知症サポーター養成講座」を受けた人が「認知症サポーター」です。  
認知症サポーターとは、何かを特別にしなければならないというのではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです。自分のできる範囲で活動できればいいのです。たとえば、友人や家族にその知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちによりそう、など活動内容は人それぞれです。出来ることを出来る範囲で取り組むことが地域の大きな支えとなります。

### ★ 「認知症サポーター養成講座」 って？

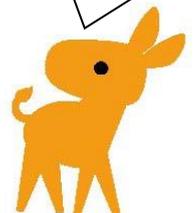
認知症の正しい理解・啓発のため、メイト（スタッフ）が出向いて講座を開催！

「認知症とは何か」「認知症の人にどのように接すれば良いか」などについて、寸劇や紙芝居を交えながらわかりやすく説明します。

- 内容 「認知症とは？」 「認知症の人への接し方」の解説など
- 時間 1時間30分程度（応相談）  
※小中学校は授業の1コマ（45分または50分）でも可
- 費用 無料

※ 出前の可能な日時は、月～金曜日（平日）午前8時30分～午後5時、土日祝日や時間外の開催については応相談。

講座修了者には、サポーターの証を差し上げます！



### お申込み・お問合せ

水口地域	甲賀市社協水口センター	TEL : 76-3287
土山地域	土山センター	TEL : 66-2001
甲賀地域	甲賀センター	TEL : 88-2942
甲南地域	甲南センター	TEL : 86-6035
信楽地域	信楽センター	TEL : 82-8031



### 現在の日本の状況は？

85歳以上では4人に1人が認知症の症状があるといわれています。

非常にたくさんの方が認知症になっておられ、自分の家の近所やお店などで、認知症の方と接する機会が増えます。

### 認知症の方はどんな症状が出るの？

普段の生活の中で少しずつできないことが増えていきます。

- 例えば
- ・一度にたくさんのことを言われるとうまく処理ができなくなる。
  - ・今何時なのか、今日は何日なのか、季節等もわからなくなる。
  - ・道に迷ったり、家のトイレの場所がわからなくなったりする。

等があります。



### 認知症の方と接した時、自分はどう対応すればいいの？

正しい知識を持っていれば、少し手助けをするだけで認知症の方とも仲良く暮らすことができます。

認知症サポーター養成講座で学んでみましょう！



#### 対応例① <児童・生徒用>

一緒に住んでいるおばあちゃんに、「これからAくん・Bくんと、Cくんの家に遊びに行く。夕方6時ぐらいに帰る」とことばで伝えた。

↓  
おばあちゃんは認知症で、一度にたくさんのことを言われるとわからなくなってしまうので、何を聞いたのかすっかり忘れてしまった。



おばあちゃんは認知症なので、出かける時は声をかけるとともに、内容を書いた紙を置いておくようにした。

↓  
おばあちゃんが伝えたことを忘れてしまってもちょっとした気遣いで、おばあちゃんも家族も安心することができる。

#### 対応例②

隣のおじいさんが、家から少し離れたところで不安そうにキョロキョロしている姿を時々見かけることがある。

↓  
家がどこだか、わからなくなっているみたい。

↓  
気になるが、どうしていいのかわからない。



隣のおじいさんは認知症であると聞いている。学校の帰りに、立ち止まってキョロキョロしているおじいさんを見かけた。

↓  
思い切って声をかけ、一緒に家まで帰ってきた。

↓  
周りの方のサポートでおじいさんの不安を少しやわらげることができる。